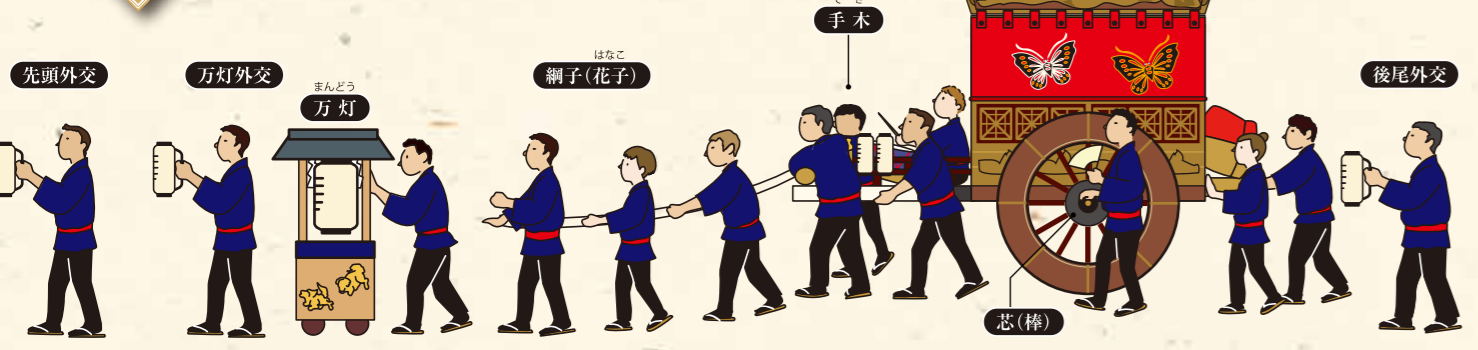


# 掛川大祭の基礎知識

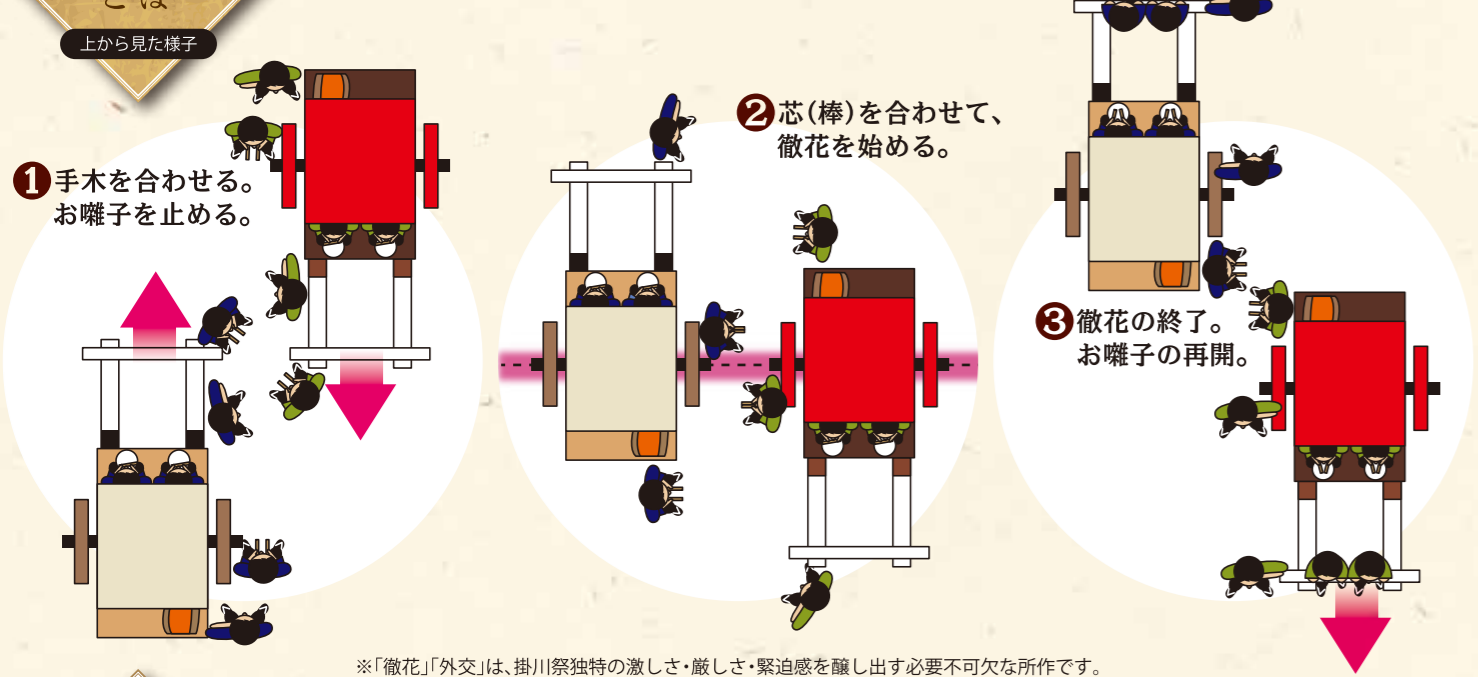
## 外交とは

他町への挨拶と折衝などを行い、「先頭外交」「万灯外交」「後尾外交」の区分があります。また、外交の役割のうち、1名を「外交長」、5名を「外交」とい、「総務」1名と「副総務」2名を含め、各町9名が「外交権」という権限を持ちます。



## 徹花とは

主として、屋台同志が擦れ違う際に行なう景気づけや親睦としてのしきたりで、所作そのもの、その時に奏でられるお囃子の両方を指します。しかし、実際には、擦れ違う両町の間には緊張感が漂う状況となる場合も多く、これは前述の外交同士の折衝でも同様です。



## お願い



# 掛川大祭ご案内

10月11日(金) 12日(土) 13日(日) 14日(祝) 9:00~21:00  
(11日のみ18:00~21:00)

## 城下町 宿場町 そして大祭

掛川祭は、掛川市中心部に位置する7つの神社の氏子41町が参加する合同祭礼です。本年は「大祭」の年にあたり、三大余興と呼ばれる「獅子舞かんからまち」「大獅子」「奴道中」が登場します。初日の「宵祭り」に始まる序盤は、「龍神社」の「御神輿渡御・御神輿還御」を初めとする神事が中心となり、中盤以降は、「獅子舞文化」「曳山文化」「花柳文化」が混在する美しく華やかで上品な祭りが展開されます。また、それらの多様な出し物や演舞には、全国各地の複数の祭りや民俗芸能との関連性・共通性が見出せます。



総勢約200人で操る我が国最大級の獅子で、舞う姿は圧巻です。幕末の頃、旅に出た地元仁藤町にある天然寺の住職が、伊勢白子(三重県)で見た獅子を元に考案したとされます。「大獅子」に従う屋台は、掛川藩お抱え大工の系統の棟梁が明治時代に製作し、名門立川流の彫刻も施された逸品で、屋台から聞こえるお囃子も格調高いものです。昭和45年(1970)年の大阪万博参加をはじめ、全国規模の催し物にも度々出場しています。



戦前の掛川の祭りは「衣裳祭り」と呼ばれ、歌舞伎舞踊を源泉とした気品と華やかさは、今なお掛川祭の様式美として継承されています。屋台は全国的に珍しい二輪型式で、屋台行事全体に「江戸天下祭」の痕跡が複数残り、曳き回しの途中では長唄や端唄など、花柳界からの演舞を披露します。屋台の障子には、江戸文化の代表格「市松模様」が見られ、彫刻などの屋台装飾には、中京圏の曳山文化の流入も確認できます。



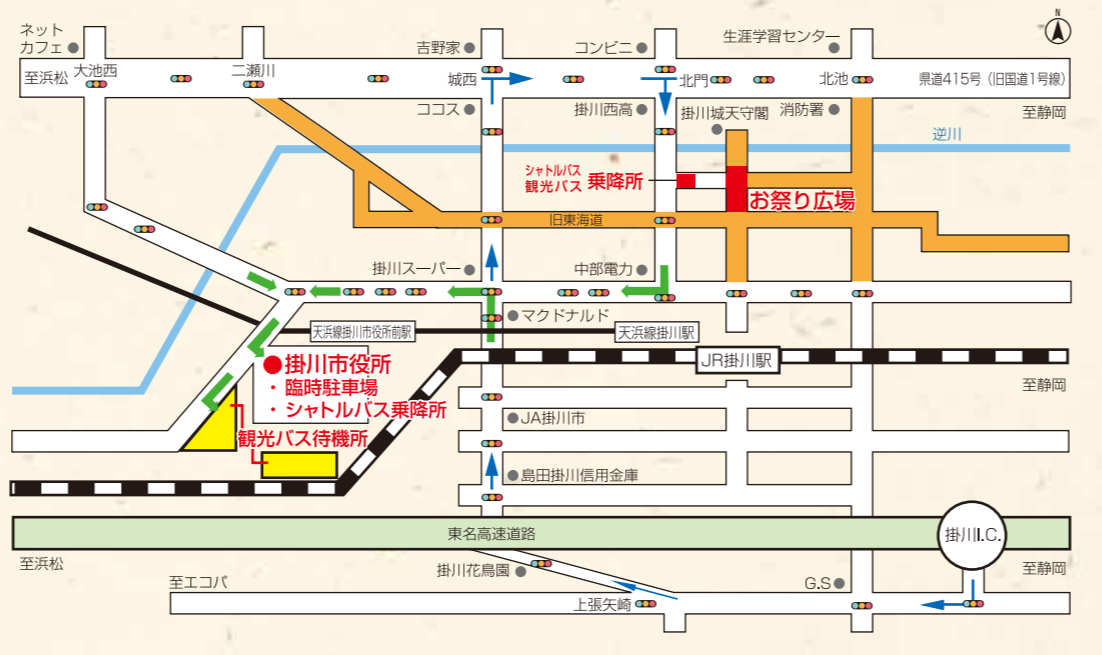
掛川城と密接な関係にあった獅子で、歴史上の初出は宝暦3(1753)年です。起源には諸説あり、関東以北に多い三頭(三匹)獅子として、掛川に地理的例外となり存在する理由も不明です。さらに若手県連野市の民俗芸能には「獅子舞かんからまち」に繋がる伝承があり、謎は深まります。舞での切れ味ある剣戟や、帯同する「花鏡/はながま」の神々しい美しさも、見る人の目を奪います。(静岡県指定無形民俗文化財第一号)

明治時代に、江戸時代の東海道や掛川を偲び考案されました。折しも、日清・日露の戦勝祝いから、当時の薩長政権を尊重し、薩摩藩の「大名行列」になったとされますが、道具箱などに掛川藩の紋章も見られます。見どころは、奴による槍や大鳥毛の受け渡す。また、奴に従う屋台は、「東海道五十三次」の彫刻が施された秀作です。なお、本年は、本来の「大名行列」ではなく、「奴道中」のみでの披露です。

歴史上の初出は、「獅子舞かんからまち」同様に宝暦3(1753)年の文献ですが、現存する書付や史実などから、延享3(1746)年には存在したと推察され、舞の名称「掛川宿頭大威の舞」は、当時、政情不安の鎮静化を担ったことが由来と考えられます。また、獅子の専門家からは獅子頭自体は400年以上遡る可能性の指摘もあり、平成13(2001)年には、皇室による舞の観見という大きな栄誉を受けました。(掛川市指定有形・無形民俗文化財)

## 臨時駐車場・シャトルバス運行のご案内

中心市街地は交通規制のため、車の乗り入れができません。臨時駐車場(掛川市役所)をご利用ください。



**無料シャトルバス**

- ◆運行日 10月13日(日)・14日(月・祝日)の2日間
- ◆運行時間 13日(日) 9:00~17:30(約20分ごとに発着) 14日(月・祝日) 9:00~17:00(約20分ごとに発着)
- ◆乗降場所 臨時駐車場(掛川市役所) お祭り広場乗降所(くすのき公園前) ◆掛川I.Cから臨時駐車場:約10分

**観光バス乗務員のみなさまへのお願い**

- 左図(青い矢印)に従ってお祭り広場乗降所でお客様を降ろしてください。
- お客様の見学中、バスは臨時駐車場(掛川市役所)で待機していただきます。
- 集合時間に合わせて、お祭り広場乗降所へ移動願います。

◆矢印は観光バスの市内への進入経路  
◆一般車両および観光バスの臨時駐車場への進入経路

区間は車両進入禁止です。(10/11=18:00~21:00 10/12~14=9:00~21:00)

お問い合わせは 掛川観光協会ビジターセンター「旅のスイッチ」 ☎0537(24)8711  
<https://www.kakegawa-kankou.com/> JR掛川駅 南口 コンコース内(営業時間/9:00~17:00)

# KAKEGAWA GREAT FESTIVAL

# 掛川大祭

三年に一度の大乱舞。四十一町が織りなす伝統絵巻。

祝日 10月11日(金) 12日(土) 13日(日) 14日(祝)

18時から21時 9時から21時 9時から21時

お問い合わせ 掛川観光協会ビジターセンター「旅のスイッチ」 ☎0537(24)8711

# お祭り広場のご案内

10月13日(日)・14日(月・祝) 12:30~16:30(雨天中止)



## お祭り広場余興演目

時間	町名	余興名
<b>10月13日(日) 12:30~12:50 開会式</b>		
第12ブロック 12:55~13:15	橋町	よさこい鳴子踊り
	長谷	奴さん
	末広町	火の国太鼓
第11ブロック 13:20~13:45	鳥居町	子供三番叟(こどもさんばんそう)
	秋葉通り	鞍馬山(くらまやま)
	上屋敷	上屋敷どんたく
第10ブロック 13:50~14:10	七日町	木遣りくずし
	城西	五万石
	二瀬川	木遣りくずし
14:15~14:30	西町	奴道中
第3ブロック 14:35~14:55	北門	道三音頭(どうさんおんど)
	松尾町	俄獅子(にわかじし)
	城内	せつほんかいな
第5ブロック 15:00~15:25	中央一丁目	越後獅子
	研屋町	と組どんたく
	栄町	助六
第7ブロック 15:30~15:50	紺屋町	木獅子の舞
	十王	深川
	下俣町	串本節
第4ブロック 15:55~16:15	中央二丁目	茶つきり節
	大手町	大原女奴(おはらめやっこ)
	連雀町	吉原雀(よしはらすずめ)
肴町	四十七士(しじゅうしち)	

時間	町名	余興名
<b>10月14日(月・祝)</b>		
12:30~12:45	瓦町	かんから獅子の舞
第8ブロック 12:50~13:40	中央高町	小獅子の舞
	中央三丁目	奴さん
	小鷹町	かっぱれ
第9ブロック 13:45~14:05	十九首	御囃子・神田祭
	下西郷	娘道成寺(むすめどうじょうじ)
	城北町	六段くづし
第6ブロック 14:10~14:25	弥生町	祝い目出た
	中町	桃太郎
	緑町	かっぱれ
第2ブロック 14:30~14:55	道神町	小獅子の舞
	神明町	五郎
	旭町	菊づくし
第1ブロック 15:00~15:20	新町	①娘道成寺 ②吉野山
	喜町	秋の野に出て
	塩町	浦島
15:25~15:45	仁藤町	大獅子の舞

\*予定は変更になる場合がございます。

# 三大余興行動図

※三大余興は雨天等により行動が変更になる場合があります。  
※地図中の★印は、出発・到着地点を表しています。

10月	獅子舞かんからまち〈瓦町〉	大獅子〈仁藤町〉	奴道中〈西町〉
12日 土	<p>●午前【龍尾神社参拝】 自町→城西→城内→松尾町→城内→北門→下西郷→龍尾神社→[御渡りに伴う巡行]→御旅所→中町→西町→自町</p> <p>●午後 自町→西町→旧居酒屋よっちゃん角&lt;左折&gt;→中町→イシバシヤ角&lt;左折&gt;→御旅所→緑町→緑橋&lt;Uターン&gt;→天城角&lt;右折&gt;→中町→メガネのマツナガ角&lt;右折&gt;→西町→旧居酒屋よっちゃん角&lt;右折&gt;→自町</p>	<p>※仁藤町の大獅子は 10/13◆・14◆のみとなります。</p>	<p>●午前【龍尾神社参拝】 自町→中町→甲州屋仏具直進→緑町→城内→旧国道横断→北門→下西郷→龍尾神社→[御渡りに伴う巡行]→御旅所→中町→甲州屋仏具直進→自町</p> <p>●午後 自町→中町→甲州屋仏具直進→緑町→連雀町→御旅所→中町→甲州屋仏具直進→瓦町→自町</p>
13日 日			
14日 月祝			

